

バイオマス製品普及のための政策提言

石油に依存せず、二酸化炭素を増やさない環境製品で、日本がリードを続けるために

1 バイオマス製品とは

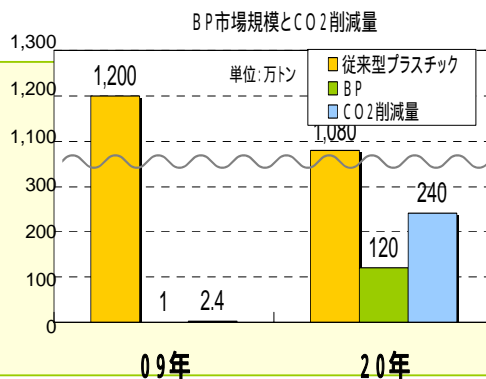
バイオマス製品とは生物由来の原料で作った製品を指します。広義にはバイオ燃料等も含まれるが、ここでは『バイオマスプラスチック(以下「BP」という)』を中心とした素材型製品をいうものとします。【別紙1 参照】

【特徴】
生物由来のため資源枯渇の心配がない、BP 1kgで2kgのCO2を削減します。【別紙2 参照】



3 BP市場の成長モデルと効果

- 2020年に国内プラスチック市場の1割(120万トン)をバイオマス製品に代えると240万トンのCO2削減となります。
- 地元バイオマスを活用する機会が増え地場産業の振興に貢献します。
- 高度な技術を有するプラスチック産業の持続性ある構造への変革に貢献できます。【別紙2 参照】



2 BPを取り巻く現状

2-1 技術力

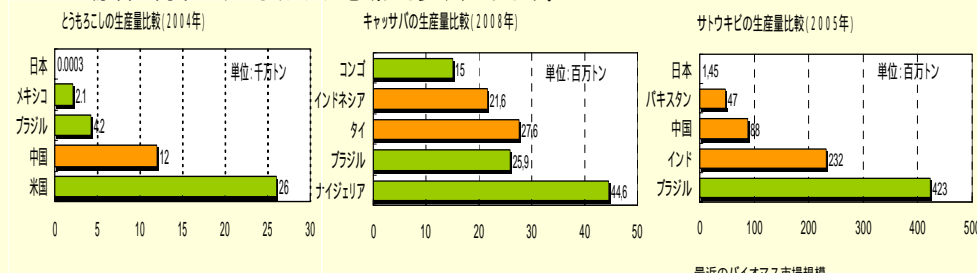
(バイオマス原料からBP製品を作るプロセス)



いずれも日本が得意な分野であり、世界に先駆けて様々なBP製品を作り出しています。【別紙3 参照】

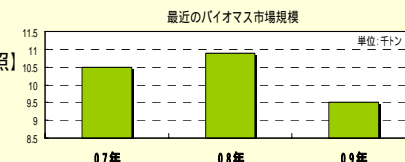
2-2 原料

原料は南米だけでなくアジア地域にも多くみられます。 [オレンジ色] = アジア



2-3 市況

BPの市場規模は最近減少傾向にあります【別紙4 参照】
その理由は
新分野の商品のためコストが高い。
不況の影響でCO2削減効果だけでは売れない。
BP製品に対する政府の支援策が弱い。

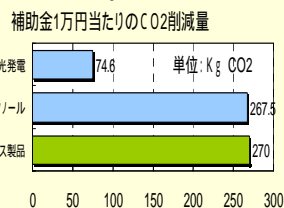


環境技術立国実現のために以下を提言します。

4 提言

1 バイオマス製品にも優遇措置を

現行の補助制度を適用した場合、BP製品のCO2削減量は1万円当たり270kgになる。【別紙5 参照】



大きなCO2削減効果を持つBP製品にも補助支援等の優遇措置を講じること。
また、バイオマス製品の製造に係わる用地や生産設備等にかかる税金(固定資産税等)に優遇措置を講じること。

2 BP製品購入者にポイントを

BP製品の購入者にポイントを与えること。環境活動には節電や節水等ネガティブな活動が多いが、普段使いの製品に電子マネー等を利用して購入者にポイントを与えることは環境活動に参加する喜びを与え、アクティブな環境活動となり、景気対策にもなる。

3 グリーン購入での義務付けを

グリーン購入の義務付けだけでなく、購入量の数値目標を明示し、官公庁が率先して購入すること。購入量の数値目標を明示し、官公庁が率先して購入することは、国民の理解の増進となる。

4 アジア諸国と連携を図ること

アジア地域はバイオマス資源の高い生産能力を持つ。日本の優れた栽培技術で指導を行い、共同で製品開発を進める。資源の確保や品質の規格化、環境データの共有、リサイクルやリユースの基準の策定等を進めること。

5 排出権取扱いルールの確立を

BP製品の製造や流通、使用の過程において、誰に排出権を得る権利があるのか国際的なルールが定まっていない。環境先進国である日本が指導的立場をとり、資源の乏しい我が国の立場が不利にならないよう対策を立てること。